

前回審議での意見への対応(案)

章一番号	意見内容	対応	担当課
1章 (P3)	計画を誰が読むのかを意識した記載としてほしい。県の身近な環境の変化を記載できないか。	計画策定の背景の各項目に、県の環境の変化等の記述を追加する。	新エネルギー・地球温暖化対策室 環境管理課 循環型社会推進課 自然環境課
1章 (P3)	P3以降のトピックスについて、もう少し平易な文章で記載できないか。	IPCC第5次評価報告書のトピックスは引用のためやや堅い表現となっている。ポイントとなる点を見出し的に強調して記載する。	新エネルギー・地球温暖化対策室
1章 (P6)	ESDについて、岡山市はRCE(地域の拠点)として当初の設立にも携わっているので、そのことも記載できないか。	RCE岡山について記述を追加する。	新エネルギー・地球温暖化対策室
4章 (P39)	小水力発電の導入促進について、指標の努力目標に、件数だけでなく容量(ワット)の記載は併記できないか。	小水力発電には、5kW程度のマイクロ小水力から500kW超のものまでであるため、設置箇所数に重点を置いた考えから、件数のみとしている。	新エネルギー・地球温暖化対策室
4章 (P39)	田舎には小水力発電に適した場所が多くあるので、導入にあたってのアドバイス等をしていただけないか。	「導入の促進」には、ご提案のアドバイスも含まれる。具体的な事業の中で取り組んでいく。	新エネルギー・地球温暖化対策室
4章 (P45)	すでにマイバックを持参している方は多いので、「毎月10日はノーレジ袋デー」という標語をやめて、「毎日がノーレジ袋デー」の方がレジ袋削減を推進できるのではないか。	現状、辞退率は20%台にとどまっております。辞退を促す運動を統一的に実施するため、毎月10日の取組は継続して、より一層の普及啓発に取り組んでいく。	循環型社会推進課
4章 (P45)	食品の大量廃棄について、業者間でのトラブルなども発生しており、県には対策を検討いただきたい。	食品ロスの削減等に向けて、県民や事業者働きかけを進めることを、計画に盛り込みたい。	循環型社会推進課
4章 (P45)	家庭系ごみについて、実際にリサイクルに取り組んでいる人はどれくらい数値化できないか。	容器包装リサイクル法に基づき市町村が回収し、リサイクルされる廃棄物の量は把握できているが、何人というデータはない。	循環型社会推進課
4章 (P62)	落書き防止重点取組地区の目標数値はゼロの方がよいのではないか。	落書き防止活動に取り組んだ結果、最近ではかつてのような大規模な落書きは見られなくなったこともあり、指標については廃止する。	環境企画課